

* * * *

ナハカノコソウ属 *Boerhavia erecta* の花粉, 胚嚢, 胚乳, 胚の初期発生を調べた。花粉の始原組織は 2 細胞である。花粉母細胞の形成は単子葉型である。タペタム形成は glandular 型である。花粉の四分子分裂は多くは isobilateral であるが, ときに tetrahedral のものも見られた。花粉は 2 細胞になって放出される。胚珠は受精時は倒生であるが, その後しだいに湾生となる。胚珠は 1 枚の珠皮と多層の珠心の中に胚嚢がある。胚嚢形成は普通型, 胚乳形成は多核型である。

□「清瀬の自然フィールドガイド」編集委員会：清瀬の自然フィールドガイド 春 212pp. 1986. 清瀬市, 東京. ¥1,500. 最近地方自治体が独自の自然案内や図鑑を出版するようになった。市町村の文化活動がこういう面にも向けられるようになったのは結構なことである。本書もそのひとつで, 山崎敬氏の監修になる植物の部は 128 頁にわたり, もっとも多くの部分を占める。内容は原色写真に簡単な解説をつけたもので, 雑木林, 道端などといくつかの生育地別にわけてある。動物では昆虫と鳥が同様に解説されている。こういう図鑑の生命はなんといっても写真のきれいさにあるが, この点では十分満足のゆくものである。(金井弘夫)

□日外アソシエーツ：日本件名図書目録⑨ 動・植物関係77/84 598pp. 1985. 日外アソシエーツ, 東京. ¥19,000. 1977年から1984年6月までに日本国内で刊行された動植物関係図書19,000点を, 動植物名および関連項目名から検出できるようにしたもので, 典拠は JAPAN/MARC, NIPPON MARK, 日本全国書誌週刊版, 同索引, 出版年鑑である。9-38頁に項目名が50音順に並べられ, 出現頁が示されている。職業別電話帳と同じと考えればよい。たとえば日本(植物)では, ほぼ県別に仕分けされて 315 点が並んでいる。いくつもの検索項目をもつ文献はそれぞれの項目見出しの下に重複して採録されている, たとえば宮城県植物関係文献は日本(植物—宮城県)と宮城県(植物)の両方の見出しの下に見いだされ, 検索者の手間を省くようにされている。和文の単行本のみで, 雑誌収載論文や英文図書は採録されていないようで, Hara *et al.* (ed.): OZEGAHARA (1982) は見当たらない。最近 VAN や CAPTEN の公開で, データベース検索はオンラインで行なうのが常識のような風潮があるが, 検索はこのようなハードコピーのほうがずっとやりやすい。研究機関のみならず, 少しでも専門的な仕事をする者には必要な資料となるだろう。(金井弘夫)